

みずほCustomer Desk Report 2019/06/17 号 (As of 2019/06/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.43
TKY 9:00AM	108.33	1.1279	122.19	GBP/USD	1.2681
SYD-NY High	108.59	1.1289	122.26	AUD/USD	0.6912
SYD-NY Low	108.16	1.1203	121.60		0.6918
NY 5:00 PM	108.57	1.1212	121.72		0.6862
					0.6872
NY DOW	26,089.61	▲ 17.16	日本2年債	-0.2000	0.00bp
NASDAQ	7,796.66	▲ 40.47	日本10年債	-0.1300	▲1.00bp
S&P	2,886.98	▲ 4.66	米国2年債	1.8436	1.10bp
日経平均	21,116.89	84.89	米国5年債	1.8351	0.14bp
TOPIX	1,546.71	5.21	米国10年債	2.0830	▲0.88bp
シカゴ日経先物	21,015	▲ 55	独10年債	-0.2570	▲1.45bp
ロンドンFT	7,345.78	▲ 22.79	英10年債	0.8460	1.10bp
DAX	12,096.40	▲ 72.65	豪10年債	1.3720	▲3.70bp
ハンセン指数	27,118.35	▲ 176.36	USDJPY 1M Vol	6.29	0.00%
上海総合	2,881.97	▲ 28.77	USDJPY 3M Vol	6.41	▲0.04%
NY金	1,344.50	0.80	USDJPY 6M Vol	6.83	0.00%
WTI	52.51	0.23	USDJPY 1M 25RR	-1.30	Yen Call Over
CRB指数	174.81	0.38	EURJPY 3M Vol	6.60	▲0.00%
ドルインデックス	97.57	0.56	EURJPY 6M Vol	7.05	▲0.04%

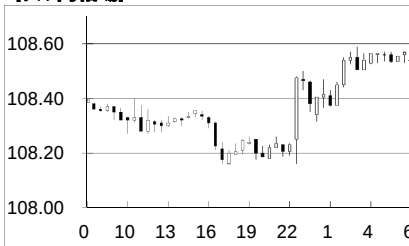
[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
6月14日	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報	4月 0.6%/-1.1%	-
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 0.1%/0.9%	0.2%/1.0%
	16:00	中 鉱工業生産(前年比)	5月 5.0%	5.4%
	16:00	中 小売売上高(前年比)	5月 8.6%	8.1%
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	5月 0.5%	0.6%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	5月 0.5%	0.4%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	5月 0.4%	0.2%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	6月 97.9	98.0

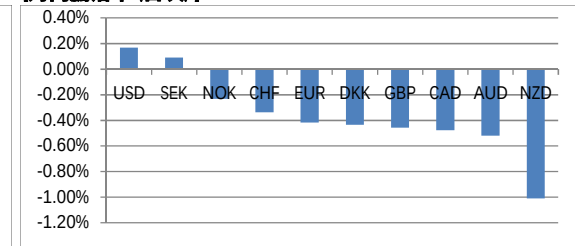
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
6月17日	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	6月 11.0	17.8
6月18日	02:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.20-108.70	1.1160-1.1260	121.20-122.20

[マーケットインプレッション]

14日のドル円は108円台前半を中心とした32銭の狭いレンジで推移した。米長期金利の低下が重しとなりドル円は軟調に推移。北米時間に発表された米5月コア小売売上高が市場予想を上回った他、前月分が上方修正されたことを受け、米金利上昇・ドル買いの流れとなりドル円は上昇。米5月鉱工業生産も市場予想を上回る結果となったこともドル円をサポートし、108.57レベルで取引を終えた。本日のドル円は動意の薄い展開を予想。米6月ニューヨーク連銀製造業景況指数が発表される予定だが、FOMCを直前に控えて市場は様子見ムードが強まっており、市場の反応は限定的となるだろう。108円台で揉み合う展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は108.33レベルでオープン。日経平均株価が21,000円を保って底堅く推移する中、仲値にかけて108.40まで買われたものの、ドル買いは続かず108.27まで下落。その後は来週にFOMCを控え動きに乏しい展開が続き、108.30台を中心とした狭いレンジでの推移となった。結局108.31レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.31レベルでオープン。中国の5月鉱工業生産が市場予想を下回ったことを受けて108.16まで下落。その後は狭いレンジでの推移に終始し、結局108.21レベルでNYへ渡った。ポンドドルは、1.2631レベルでオープン。12日の英議会で、労働党の合意なき離脱を阻止する法案が否決されたことによるポンド売りへの圧力が継続。小幅に下値を切り下げ、一時1.2627まで売られたが、結局1.2641レベルでNYへ渡った。(ロンドン・ルワー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	NY市場のドル円は108.21レベルでオープン。朝方発表された米5月小売売上高は予想を下回ったものの、自動車を除いた数値が予想を上回ったほか、前月発表された4月分が上方修正されたことが好感され、米金利の上昇とともにドル買いが強まり、ドル円は急上昇。その後、米5月鉱工業生産も予想を上回ったことにもサポートされ、108.50を付ける。ドル買いが一巡し、米5月ミシガン大学消費者マインドが予想を下回る中、108.32まで反落する場面もあったが、この水準ではドル買い意欲も根強く、108.59まで高値を更新。ダウ平均が下げ幅を縮小する中、その後も高値圏で推移。翌週にFOMCを控え、様子見ムードが強まったことから、終盤は小動きとなり108.57レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.1280近辺の狭いレンジで推移。早朝は独長期金利の低下を手掛かりに1.1253まで下落し、1.1260レベルでNYオープン。朝方発表された米経済指標が予想より強い内容だったことから、下げ足を早め1.1231まで下落。その後1.1245まで戻すが、ドル買い意欲に圧迫され、6月6日以来の水準となる1.1203まで下落する。週末を前に積極的な売買控えられる中、終盤は安値圏で方向感の無い推移となり1.1212レベルでクローズ。

本情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・玉井